

別添資料

和名	学名	評価の理由
ナイトアノール	<i>Anolis equestris</i>	アノール属において、ナイトアノールは最大級の、ガーマンアノールも大型の種であり、高木の樹冠部に生息して大型昆虫や樹上性のトカゲ類などを捕食する。両種とも本来の生息地外で定着した事例がある。両種の定着事例から判断すると、南西諸島や小笠原諸島などで定着する可能性がある。定着した場合には、捕食や競合を通して在来生物群集に影響を与えるおそれがある。
ガーマンアノール	<i>Anolis garmanni</i>	
ミドリオオガシラ	<i>Boiga cyanea</i>	東南アジア原産の比較的大型になる樹上性の高次捕食者であり、南西諸島や小笠原諸島などで定着する可能性がある。定着すれば、捕食や競合によって鳥類、爬虫類、両生類などを含む在来生物群集に影響を及ぼすおそれがある。
イヌバオオガシラ	<i>Boiga cynodon</i>	
マングローブヘビ	<i>Boiga dendrophila</i>	
ボウシオオガシラ	<i>Boiga nigriceps</i>	
プレーンズヒキガエル	<i>Bufo cognatus</i>	北アメリカ原産のヒキガエル類であり、本州以南の温暖地で定着する可能性がある。定着すれば、昆虫をはじめとする小動物を捕食すること、在来のヒキガエル類と競合することによって在来生物群集に影響を与えるおそれがある。また、体表から毒を分泌することから、希少種を含む捕食者に影響を与えるおそれがある。
アカボシヒキガエル	<i>Bufo punctatus</i>	
オークヒキガエル	<i>Bufo quercicus</i>	
テキサスヒキガエル	<i>Bufo speciosus</i>	
キンイロヒキガエル	<i>Bufo guttatus</i>	南アメリカ原産のヒキガエル類であり、南西諸島や小笠原諸島などで定着する可能性がある。定着すれば、昆虫をはじめとする小動物を捕食すること、在来のヒキガエル類と競合することによって在来生物群集に影響を与えるおそれがある。また、体表から毒を分泌することから、希少種を含む捕食者に影響を与えるおそれがある。
コノハヒキガエル	<i>Bufo typhonius</i>	